

CONTENTS

文化人の本音 河合隼雄文化庁長官対談 第21回 ゲスト 加藤 剛さん ●俳優

自分の中にもう一人の自分を	4
長官コラム 文化庁の抜穴	9

わがまちの文化振興条例⑨ 鳥取県文化芸術振興条例	22
いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート⑩ 中山道広重美術館(岐阜県)	24
著作権の保護とその例外⑨	25
子どもたちから見た伝統的建造物群保存地区 五個荘町金堂(滋賀県五個荘町)	26
全国発掘調査ホット情報⑨ 古墳出現期の集落と墳墓千坊山遺跡群の調査から(富山県)	27
文化体験プログラム支援事業⑨ 熊本県長洲町	28
外来語の現状とその解決のために⑥ 定置している外来語はどのように使ってもよいのですか…甲斐睦朗	29
探訪 日本の世界遺産⑨ 世界文化遺産 厳島神社(広島県)	30
日本の伝統美と技を守る人々 選定保存技術保持者編33 桜井 洋(木工品修理)	31
文化ボランティア通信 「文化ボランティア通信」第九号の概要	32
国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法—文化財鑑賞の手引き—⑨ 仏画(仏教絵画)の見方	33

河合文化庁長官と若手文楽技芸員との 懇談会開催	34
国立劇場おきなわ開場	36
「人形浄瑠璃文楽」の第2回ユネスコ 「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」について	39
平成15年度 地域文化功労者 決定	40

東京国立博物館 博物館に初もうで 新春特別展示 申・猿・さる	43
奈良国立博物館 特別陳列 大和の神々と美術 七支刀と石上神宮の神宝	44

文化庁提言 日本文化の発信と国際文化の理解	10
文化庁文化交渉使事業について	12
事例紹介 来日芸術家型文化交流使 インタビュー 渡辺洋一さんに聞く／小山内美江子さんに聞く	13
施策紹介 国際交流年事業の推進	14
事例紹介 日本ASEAN交流年二〇〇三「国際アニメ・マンガフォーラム」	18
近松座事務局 尾畑 幸	19
国際課	20
国際課	21

特集 日本文化の国際発信

吉尾啓介

新国立劇場スポットライト	45
1月の国立劇場	46
芸術文化振興基金ニュース	47
題字デザイン 桑山弥三郎	

今月の表紙
日本ASEAN交流年2003記念事業
「ミュージカル・舞踊劇『Realizing Rama～ラーマーヤナ』」
photos: Salvador Bernal

脚本家 JHP 学校を作る会代表
小山内美江子 さん
 聞く

小山内さんは、人気ドラマ『3年B組金八先生』（TBS）やNHK大河ドラマ『徳川家康』『翔ぶが如く』などの脚本で有名な脚本家です。また、NPO法人「JHP 学校を作る会」の代表として、カンボジアを中心とした戦争や自然災害で教育が受けられない子どもたちのために学校をつくるボランティア活動などで活躍をしています。

小山内さんは、八月二〇日から九月二四日まで一か月以上にわたって、カンボジアの教育文化発展のためにマーチングバンドの指導や、教育・文化に関する交流、講演等を行いました。

今回、カンボジアでの活動を中心に、小山内さんのご活躍についてお話をうかがいました。

— 小山内さんは、以前から、カンボジアでの支援活動を行っていらっしやい

た。日常生活の中で目撃する機会もないので、子どもより教師を指導するのが大変でした。そして三年半が経過し、今年はい・カ国交樹立五〇周年なので、記念のオープニングに向けて特訓を重ね、平和行進の先頭先導を務めました。そうなるという注目を浴びて、教師にも子どもにもエンジンがかかってくるようになって楽しみなりません。

— また、小山内さんは現地で、日本の教育・文化とカンボジアの教育・文化

ますが、カンボジアで活動を始めたきっかけをお聞かせください。

◆私の代表作でもあるドラマ『3年B組金八先生』のスタートは、ボル・ポト政権が崩壊し、四年足らずのその間に知識人をはじめ、約二〇〇万人の同胞を虐殺したのが明らかになった一九七九年なので、私にとっては忘れられることではなく、いつかあの国に行かねばと思っていました。それが実現したのが九二年。二〇年来の内戦に終止符を打ったバリ和平協定の調印がなされたので、若い人とともに行動するのにタイミングがよく、わずかですが難民救援の経験があったので、これを生かしたいと思ったからです。

— 現代のカンボジア文化の中で、小山内さんが同国に独特なものとして興味をもたれたものをお教えてください。

◆二〇年もの長い間、教育も文化も排除・破壊されると、人々のアイデンティティも消失に等しいのかと驚きました。

学校には美術の時間などありません。紙もクレヨンも教える人もないからです。けれど、私たちが画材の支援と指導をすると、子どもたちの作品は、ほんの二、三か月で見違えるように変化します。

あのアンコールワットをつくった民族の血だと納得してしまうような造形感覚は、実にすばらしいといつも感動してしまい、現在、首

に関する講演を行われましたが、聴衆の反響はいかがでしたか。

◆建設校の贈呈式では必ずスピーチの時間を設定してもらっていますが、聴衆は教師と生徒のほかに、村人や僧侶もいますので専門的なことより、新しくつくったトイレの使いながら衛生面への注意など、受け入れやすい話と

都圏に四校のモデル校をつくり集中的に支援しています。

— カンボジアにおいて、日本文化の理解・浸透はどれほどまで進んでいるか、また、カンボジアの人々が日本にどのような印象をもっているかをお教えてください。

◆学校・橋・道路・病院などを建設支援して、経済的な収奪はしていないので、対日感情はともよいですね。その反面、日本文化の浸透は歯がゆく感じられてなりません。今のところ、人々は実利にのみ大きく感謝しているからなのだと思います。

CDなども海賊盤がさかんなので、しばしば日本のメロディーを聞きますが、人々は、それが中国の歌だと思っているのが残念です。

— 今回、文化交流使としてフノンペンの子どもたちにマーチングバンドの指導をされましたが、特に苦労されたことや、印象に残ったことなどお聞かせください。

◆九五年に持ち込んだ鍵盤ハーモニカと小学一年の音楽教科書を見て、「残念ながら、この符号（音符）を理解できる教師はいない。だから先生も送ってほしい」と首都の教育局長に言われて、ドレミから始めた音楽教育支援ですが、小太鼓などの楽器も紛れ込み、これを活用しようとマーチングバンドを結成しまし

なってしまう。

しかし、提携している師範学校などでは、日本の教育、文化に対して大いに関心をもっていると感じています。とても学ぶことに熱心で、逆に不登校の話などは理解できないので、日本の学校現場について語ってほしいと言われたとき、正直であることは難しいと思うことも多々あります。

— そのほか、今回の文化交流使の派遣について感想などあったらお聞かせください。

◆「JHP 学校をつくる会」という NGO を主宰して、約二五名の大学生と毎年一回、一か月間は現地入りしていますが、今回は文化交流使という身分であると説明し、JHP 活動との混同は避けました。

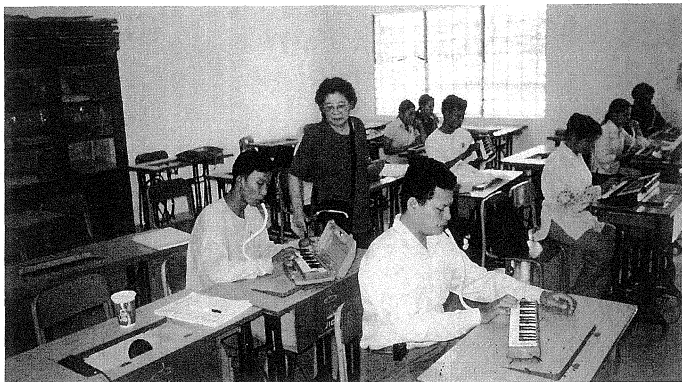
文化交流使の名刺も見せると「よかった！ やっぱ偉い人だったのだ」というリアクションがあつて、こそばゆくかつ複雑な思いがしました。

しかし一年間定期的に通つてきた人脈があつて、あらためて理解できたことがあつたり、してもらえたりするのですから、来年度からも、特に途上国へは交流使の派遣は継続していただきたいと思います。プログラム作成などは難しいですが、土着文化のすばらしさを胸を打たれることがあります。

（インタビュー：構成／国際課）



おさない・みえこ（脚本家）
 1930年生まれ。本名：笹平美江子。主な作品はNHKテレビ小説『マア姉ちゃん』、TBSテレビ『3年B組金八先生』、NHK大河ドラマ『徳川家康』『翔ぶが如く』など。主な受賞は1996年日本女性放送者懇談会SJWR賞、文化財団橋田寿賀子賞、2001年エイボン女性大賞、2002年赤い靴児童文化大賞、2003年シナリオ切賞、尾崎写賞など。主な著作には『3年B組金八先生』シリーズ全22巻、『できることから始めよう』『ボス』『轟かれた教師』などがある。



教師に対する音楽授業フォローアップワークキャンプ

◆長官対談
 【文化人の本音】河合雄雄文化庁長官対談
 奥村信之 彫刻家
 【長官コラム文化庁の抜穴】

◆特集◆
コンテンツの流通促進コンテンツ

【文化庁提言】
 著作物の円滑な利用・流通を目指して
 【有識者提言】
 モバイルが切り拓くコンテンツ流通の未来
 岸原孝昌
 活性化する放送番組の二次利用
 上原伸一
 【座談会】
 ネット時代における
 コンテンツ流通の未来と課題

◆連載◆
 【わがまちの文化振興条例】
 三重県四日市市
 【いきいきミュージアム（美術館・博物館事業レポート）】
 斎宮歴史博物館（三重県）
 【著作権の保護とその例外】
 子じもたちから見た伝統的建造物群保存地区
 佐原市佐原（千葉県）
 【全国発掘調査ホット情報】
 紫香楽舎ほか（滋賀県）
 【文化体験プログラム支援事業】
 平成一六年度支援事業の募集について
 【外来語の現状とその解決のために】
 …… 甲斐隆朗国立国語研究所所長

【探訪 日本の世界遺産】
 古部奈良の文化財（奈良県）
 【国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法】
 裏彩色のひみつ
 【日本の伝統美と技を守る人々】
 左宮（飛騨）・佐藤治男

◆文化庁ニュース◆
 文化庁国際文化フォーラム
 平成一五年度文化庁長官表彰表彰者決定 ほか

編集後記

今月号は、日本文化の国際発信を中心とした、国際文化交流について特集を組みました。今年の三月に国際文化交流懇談会の報告書がまとめられ、平成一五年度から日本文化を積極的に海外に紹介しようという取組の一つとして、文化庁文化交流使の派遣が始まりました。

国際文化交流というと、一見難しそうに聞こえますが、例えば、海外に旅行したとき、あるいは海外から観光客が来たときに、日本の文化や私たちの生活について少しでも話すことができたなら、それは立派な国際文化交流になるのではないのでしょうか。そのためにも、私たちが自国の文化を見直し、また、そのすばらしさに気づくことが大切だと思います。

最近では、歌舞伎、能といった日本の伝統芸能のみならず、アニメ、映画など、新たな日本文化が世界で認められつつあります。今後は、そのような文化をさらに世界中に広めるとともに、今まであまり知られていなかった、日本の誇るさまざまな文化についても、世界中に広めていくことにより、日本の魅力を世界にアピールしていくことが必要かと思えます。

文化庁月報 12月号 (通巻423)

平成 15年 12月 25日印刷・発行

編集—文化庁

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

発行—株式会社 きょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12
 本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16
 電話 編集 03 (3571) 2126
 販売 03 (5349) 6666
 URL : http://www.gyosei.co.jp

印刷所—ぎょうせいデジタル株式会社

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、筆者個人の見解であることをお断りいたします。

定価540円 [本体514円] 送料76円
 年間購読料6,480円
 本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込みください。

広告の問い合わせ・申し込み先
 (株) ぎょうせい営業部広告課
 電話03 (5349) 6657 (ダイヤルイン)
 ©2003 Printed in Japan ISSN 0916-9849

本誌は本文用紙に再生紙を使用しております。

移転のお知らせ
 文化庁は平成一六年一月五日(月)より左記へ移転いたします。
 代表電話は、従来と同じ番号を使用しますが、直通電話、FAXについては、番号が変更になるものもあります。
 〒100-1895
 東京都千代田区丸の内二丁目五十一番五号
 ○三十五二五三十四二二代表

文化庁では、ホームページで、文化庁に関する情報を幅広く提供しています。ご意見、文化庁月報の感想などを、ホームページのご意見欄へお寄せください。

●ホームページアドレス●
<http://www.bunka.go.jp>